

平成22年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第4分科会

富士吉田商工会議所青年部

会長 天野 崇市

「ふじよしだ産業まつり」における高校生ボランティア活動
～地元高校生と地域産業との出会い～

1. 富士吉田商工会議所青年部【富士吉田YEG】とは

富士吉田商工会議所青年部は地域唯一の総合経済団体である富士吉田商工会議所に所属する会員事業所の中で、有志の若手経営者及び後継者とその企業の主要ポストにある従業員で構成されるグループです。「地域貢献」「資質向上」「人脈づくり」をテーマに地域経済人として、夢に挑み、地域を愛する若き企業家集団です。

また、全国に商工会議所青年部は存在し日本商工会議所青年部を組織しておりその加盟数は400を超えており、日本中にネットワークのある団体であります。

主な活動は、本日のテーマとなっている「ふじよしだ産業まつり」をメイン事業に富士吉田市のPRのための物産展への出展、自己研鑽のための研修会の実施、行政等への要望活動などを行っており、現在59名の部員で構成されております。



「YEG」(若き企業家集団)とは商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったもので、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野)を持った経営者=Youth、Energy、Generalistを表している。

2. ふじよしだ産業まつりとは

富士吉田商工会議所青年部では、平成18年度より道の駅富士吉田及び富士山アリーナにおいて「ふじよしだ産業まつり」を開催しております。ふじよしだ産業まつりとは、富士吉田市を中心とした地域で事業を行っている商工事業者の出展を募り、それぞれの事業の商品やサービスをPRし、販売促進や顧客の開拓を行う「産業展」です。

本年は6月5日(土)～6日(日)の2日間の会期で開催し第5回目となる「ふじよしだ産業まつり」には100社近くの企業が出展し、食品、衣料、住まい、趣味、遊びといった消費者に直結した事業者だけでなく部品製造業など、普段一般市民が触れることのない企業の出展もあり、まさに地域の「産業」を網羅した事業となっております。

出展するこうした企業とお客さんとの出会いの機会を広げるためには多くの集客を募る必要があります、このため様々なイベントを企画運営しております。地元で養殖される「鱒のつかみどり」や

特殊な仕事をする車や地域の安全を守る警察・消防・自衛隊車両等の「働く車展示」、地場産業である織物を体験するための「手織り体験」、地域の防災を見守る「防災コーナー」、吉田のうどんをはじめとしたご当地グルメを集めた「グルメ横丁」などの他、子供から大人までが休日にゆっくり楽しめるような催しを数多く運営し、2万人もの集客を図っており、地域を代表するイベントとなっています。



3. 高校生ボランティアスタッフ

上述のとおり「ふじよしだ産業まつり」は数多くの企画で2万人もの来場者を集めるイベントであるため、運営スタッフが不足しておりました。主催者であり運営主体である青年部員の数には限りがあり、多くの来場者を収容するための駐車場誘導員を含め、限られた予算のなかで十分な運営スタッフ確保のため2年前（第3回）より高校生スタッフをお願いすることにしました。

2年前には富士学苑高校へ、昨年はこれに加え吉田高校、富士北稜高校へボランティア派遣を依頼し、今年度はさらに富士河口湖高校を含めて依頼しております。

○高校生ボランティア参加人数（会期2日間の延べ数）

	平成20年度（第3回）	平成21年度（第4回）	平成22年度（第5回）
富士学苑高校	26名	24名	20名
吉田高校	—	34名	46名
富士北稜高校	—	22名	37名
富士河口湖高校	—	—	15名
合計	26名	80名	118名

※平成22年度（第5回）については、健康科学大学（10名）にも要請している

上記のとおりボランティア参加人数は過去3回において年々増えており、年を追うごとにふじよしだ産業まつりと高校生ボランティアとの関わりは深くなってきており、事業実施するうえで欠くことの出来ない存在になっています。

これらボランティアスタッフについては、ふじよしだ産業まつり内における各所のイベントの受付や来場者の整理、アンケートの収集、場内アナウンス、物品の販売員、車両誘導員など、あらゆる場面で活躍いただいております。

高校生ボランティアの様子



4. 高校生の発表の場

運営スタッフとしてのボランティア以外にもそれぞれの学校で部活動等の発表の場としてもこのふじよしだ産業まつりは活用されています。ふじよしだ産業まつりでは会場内にステージを設け各種のステージイベントを実施しておりますが、そのほとんどが高校生の発表によるものです。

- ・吉田高校：箏曲部 合唱部 数理部化学班 茶道部
- ・富士学苑：JAZZ バンド部 ダンス部 自然科学部

また、ステージイベントの他、本年度は各高校のPRブースを設け各校が地域にアピールしたいことを自由に展示やパフォーマンスできる場を提供しました。各校それぞれ工夫を凝らし日頃の学校生活の成果などを対外的にアピールしていました。



5. 高校生と産業との出会い

運営ボランティア以外の部活動やPRブースにおける高校生は2日間で延べ200名もの生徒が関わっており、ボランティアスタッフと合わせると300名以上の高校生が何らかの形でふじよしだ産業まつりに携わっていることとなります。

ふじよしだ産業まつりは、企業と消費者もしくは企業と企業を結びつけることが大きな目的の一つですが、同時に、ふじよしだ産業まつりが、地域の未来を担う高校生と地域の産業との出逢い場となることを望んで事業を実施しております。

このため、100社もの企業が集結する産業展を見たり体験したり出来るようボランティアスタッフには出来るだけまとまった休憩時間を設けるなど、高校生が地域産業に触れる機会を作り、少しでも地域の産業に見て、理解し、興味を持ち、将来の就労や起業のきっかけとなればと願って事業を運営しました。「地域にはこんな会社があるんだ」「こんな製品を作っているんだ」など等、高校生にとって富士吉田のお店や企業が心に残り、将来地域で働き未来の富士吉田が活気ある街となることを望んでおります。

6. おわりに

現在のふじよしだ産業まつりがあるのはこうした高校生達の協力があったからこそ思っております。この場を借りて協力頂いた高校生並びに先生方に感謝申し上げます。

小さな頃は地域と触れ合う機会も多いかもしれませんが、高校生ぐらいになると段々と地域との関わりが希薄になりがちです。若い人がこのふじよしだ産業まつりに限らず様々な行事に参画して、地域と関わりを持ち、地域を理解し、地域を愛することが、この地域の明るい未来を築くものと信じて富士吉田商工会議所青年部は今後も様々な事業を実施してまいります。

今後とも我々富士吉田商工会議所青年部の活動に深いご理解とご協力をお願い致します。